

1月14日：VN指数は朝方の下げ幅を埋めるが、方向感に欠ける展開

木曜日のVN指数は銀行、不動産株の戻りを受け、朝方の下げ幅を埋め小幅高したが、一方でHNX指数は下げた。

ホーチミン市場のVN指数は朝方下げたが、その後0.11%上昇した。水曜日に8連騰が途切れ、同指数は1,204ポイントの最高値から遠ざかっている。大引けでは、値上がり銘柄数が258、うち37銘柄が7%上昇しストップ高。一方で173銘柄が下落した。

上昇したセクターには金融、保険、建設、不動産、製造、IT、小売が含まれた。

売買高が7,790万株以上、売買代金は約17兆1,000億ドンだった。

「資金流入が増えた。値上がり銘柄数が値下がり銘柄数を上回ったが、売買高は前日比であまり変わらなかった。我々の見方では、VN指数は週最終日の取引で需給が拮抗するかもしれない」（BIDV証券のデイリーレポート）

VN30指数は0.38%高の終値1,168.99ポイントだった。

大型株で構成される同指数は、14銘柄が上昇、うち1銘柄が7%近く値上がりした。一方で15銘柄が下落、1銘柄は変わらずだった。

FLCファロス建設（ROS）は同指数の中で最も上昇し、6.84%高の終値3,280ポイントだった。SSI証券も買われ、5.52%高の終値35,350ドンだった。

銀行株はなお堅調であり、VPバンク（VPB）が3.08%高の終値36,800ドン。サコムバンク（STB）も3.08%高の終値21,100ドン。軍隊商業銀行（MBB）、ベトインバンク（CTG）、テクコムバンク（TCB）、ベトナム国際銀行（VIB）といった他の銀行株は1%を超える上昇で取引を終えた。

その半面、大手メーカーと不動産開発業の多くは、株価が振るわなかった。ビンホームズ（VHM）は1.29%安の終値99,600ドン。ビナミルク（VHM）、サイゴンビール・アルコール飲料総公社（SAB）、マッサングループ（MSN）も1%を超える下げだった。

公益、運輸、物流もセクター別で冴えない動きだった。

ハノイ市場は、前日 0.23%上昇した HNX 指数が、0.1%安の終値 222.27 ポイントだった。

外国人投資家はホーチミン市場で 1 兆ドンを買い越したが、一方ハノイ市場では売り越した。売り越し額は 177 億 2,000 万ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。